

団体概要書

(その1)

団体名	特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団	団体の種別 ※いずれかの □にチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 (<input checked="" type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) いのうえ のりゆき 井上 礼之		
主たる事務所の 所在地	大阪府大阪市港区弁天 1-2-4-700 オーク 2 番街西館 7F		
設立年月	1970 年 12 月 (法人設立: 2003 年 9 月/主務官庁: 大阪府)	構成員数	69 名
事業年度	1 月 1 日 から 12 月 31 日		
団体の活動 目的	常に質の高い芸術性を追求するとともに、音楽文化の普及・浸透を目指しています。また、その音楽芸術活動を通じて、深刻化する青少年教育・心の医療にも貢献していきたいと考えています。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 1 音楽		
主な活動内容	関西フィルハーモニー管弦楽団は、大阪市に本拠を置き関西を始めとする諸地域で活動するプロ・オーケストラです。自主公演・依頼公演合わせて年間 100 回を超える演奏会を実施し、のべ 10 万人以上の方々に音楽が生み出す感動を届けています。オーケストラの魅力は、何十人も音楽家達が心一つにして作品に向き合い、音楽の奏でる感動を生み出すことが出来ることにあります。特に、青少年に向けての活動は、当楽団の重要な柱の一つです。大阪市内、また関西全域において我々は次世代を担う子供たちにワークショップや演奏会を通じて、他では体験する事のできない音楽の魅力をお届けしています。人間にしか生み出すことが出来ないこの営みがこれからの時代の中で益々重要性を増し、その活動の活性化が社会の文化向上にも繋がるという確信のもと活動しております。		
これまでの主 な活動実績	※具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 平成 26 年度 総演奏会 112 回(延べ動員数 128,800 人) [平成 25 年度 108 回(動員数 116,000 人)] 事業内訳(フルオーケストラ) 1. 自主演奏会・・・25 回 (定期・第九演奏会: 10 回 特別演奏会: 15 回) 2. 依頼演奏会・・・87 回 上記 1,2 以外に、小編成による小規模公演(ワークショップ、室内楽)を約 22 回実施。 2014 年 10 月よりスタートした BS ジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。 2015 年 5 月に 3 カ国 5 都市を巡る、初のヨーロッパ公演を予定。		
ホームページ	(有) (URL http://www.kansaiphil.jp/) / 無		
機関紙	有 (機関紙名) / (無)		

「活動分野」 大阪市芸術文化振興条例第 2 条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
 11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<p>◇経営基盤の強化</p> <p>関西フィルの財政基盤は①自主公演での入場券収入・友の会収入②依頼演奏会での収入 ③企業協賛・寄付④後援会収入⑤文化庁や民間団体などからの助成金など、5つの柱から成り立っており、自主公演・依頼公演等による事業収入の割合が収入全体の68%を占めています。</p> <p>経営の自立度を高めていくためには、良質な演奏会を提供し、集客力を高めていく不断の努力が必要であります。現在の公演回数は年間110回前後で、物理的に上限であるという認識のもと、公演の質的向上と新たな仕組みを構築し、協賛金・後援会収入を増やす事で、安定した財政基盤を確立する事が大きな課題となっております。また平成26年11月に認定NPO法人認可取得したことに伴い、寄付金において税制優遇を受けることができる点を重点に広報活動を行い、さらなる寄付金の確保に努める事が必要です。</p>
<p>貴団体の将来展望(何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>I. 関西フィルブランドイメージの向上～より高い評価を受けるオーケストラへ</p> <p>今後、関西フィルの評価を上げるために、まず演奏力の向上が挙げられます。近年、特に弦楽器につきましては、合奏力と音質の向上により、演奏会において高い評価を受ける事ができました。この事は、定期演奏会に組み入れられた弦楽合奏の曲目での厳しい練習と、デュメイと共に演奏した室内楽コンサートの成果が一因であったと言えます。今後の早急な課題として、管楽器に於きましても弦楽器同様の評価を得られるよう取り組んで参ります。</p> <p>II. 経営基盤の強化</p> <p>認定NPO法人への認可取得した事を契機に、幅広く寄付を受け入れていけるよう、広報宣伝活動を積極的に展開して参ります。このふるさと寄付金制度を広報において活用する事により、さらなる寄付金の獲得が期待されると確信しております。その寄付金による資金力の強化により、更なる財政基盤の拡充を図り、音楽活動を通じて地域社会への貢献をさらに進めていきます。</p> <p>III. 大阪の音楽文化・次世代育成の牽引役を担う関西フィル</p> <p>地域の文化振興への貢献も関西フィルの使命です。我々は大阪にとどまらず、西日本各地での演奏会を通じて地域の皆様と交流を深めています。また、演奏活動にとどまらず、学校での楽器指導、ワークショップなどを通じて、次世代を担う子供たちの育成にも力を入れています。</p> <p>関西フィルはこれからも関西を代表するオーケストラの1つとして、地域文化の牽引役、そして次世代育成の担い手として役割を果たしてまいります。</p>
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイ、BSテレビの新番組をはじめ各メディアで活躍を見せている首席指揮者の藤岡幸夫、2014年に新国立劇場のオペラ芸術監督にも就任した桂冠名誉指揮者の飯守泰次郎、それぞれ個性的な活躍で魅了する3人の指揮者と共に更なる飛躍を目指し、他では決して味わうことには出来ない”心のこもった音楽”をお届けするオーケストラ、それが私たち関西フィルハーモニー管弦楽団です。</p> <p>2015年、関西フィルは発足45周年を迎えます。「感動新次元、新たなステージへ」をテーマに、安定的な楽団運営を目指し、演奏レベルの向上・財政力の強化を図り、更なる飛躍の年としたいと考えています。</p> <p>2015年5月にはデュメイ音楽監督のもと、ヨーロッパ5都市3カ国を巡る初のヨーロッパ公演を予定しています。音楽監督就任からの4年間で培われた演奏力を、本場ヨーロッパでいかに発揮すると確信しています。</p> <p>また、2014年10月からは首席指揮者の藤岡幸夫が司会者を務めるBSジャパンのレギュラー番組「エンター・ザ・ミュージック」が全国で放映されるなど、さらなる音楽ファンの獲得に努めています。</p>